

2019 夏休み子育て応援

「学校給食のない時期のひとり親世帯への食料支援事業」 実施報告

NPO 法人フードバンク狛江

【事業実施の目的】

昨年度の学校給食のない夏・冬・春休みの支援では、アンケートから経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭の深刻さが明らかになり、引き続き事業の継続を希望する意見が多かった。そこでこの夏休み期間についても子育て支援課の協力を前提に、ひとり親の子育て応援として少しでも家計の助けとなり、子どもたちの食欲を満たしてもらえよう緊急食料支援を行います。

【実施の方法と実績】

1) 申し込み案内について：

狛江市子育て支援課が郵送する現況届に同封し、市内ひとり親家庭 385 世帯に申込書を郵送。
また、子育て支援課窓口でも申し込み案内を希望者に配布できるようにした。

2) 実施期間と回数について：これまで同様、学校の夏休み期間に 1 世帯 1 回、宅配便で提供した。

■ 申し込み受付期間：8月1日（木）～8月18日（日）

申込み履歴： 内訳： HPから 55 件、メールから 3 件、電話 6 件=64件

日付	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6	8/8	8/9	8/10
HP	18	4	5	4	4	2	3	2	2
電話		1			1	1			
メール	1	2				2			1
日付	8/11	8/12	8/13	8/14	8/16	8/17	8/18		計
HP	3	1	1	1	2	1	2		55
電話									3
メール									6

3) 提供の方法：宅配便（送料は当団体負担）で8月1日（木）から8月19日（月）まで随時発送した。

■ 発送履歴及び時間：

費やした時間：103時間（概算） / ボランティア参加人数：延べ 32名

日付	8/1	8/2	8/5	8/8	8/13	8/15	8/19
発送数	3	19	16	9	11	1	5
時間	2人・4H	8人・32H	6人・26H	5人・14H	5人・18H	2人・1H	4人・8H

4) 提供世帯数実績：64世帯 合計人数170人

■ 申し込み数：

	世帯数	総人数	高校生以下人数	世帯主他の人数
今回	64	170	97	9
昨年夏休み	44	122	67	55

■ 97人の子ども（高校生以下）の人数内訳：

	小学生未満	小学生	中学生	高校生
今回	11人	35人	31人	19人
昨年夏休み	7人	29人	17人	14人

■ 人数別世帯数内訳：

	2人世帯	3人世帯	4人世帯
今回	30世帯	26世帯	8世帯
昨年夏休み	17世帯	20世帯	7世帯

■ 新規申し込み数と過去の申し込み数：

新規申し込み	過去3回	過去2回	過去1回
30	10	16	7

*参考

昨夏申込	昨冬申込	今春申込
24	19	29

5) 提供食品（想定）について

- ・重さ：1人当たり3~4kg、
- ・内容：お米、麺類、レトルト、缶詰、調味料、お菓子、飲料など（アレルギーへの対応はしない）

■ 食料支援実績

- ・総重量 665.9 kg、お米 208.1 kg 一人当たり平均：3.9 kg
（参考＝昨年夏休み支援：431.5kg、米 117kg 一人当たり平均：3.1 kg）

6) 同封書類について

■ 食品発送の際は以下を同封した。

- | |
|--|
| ①当団体リーフレット②アンケート③こま YELL チラシ
④市内子ども食堂マップ⑤中央公民館でのイベントチラシ |
|--|

■ アンケート回収状況（結果詳細は別紙参照）：

- ・回収枚数：37/64 ・回収率約 57.8% *アンケート結果参照

【食品集荷目標と実績】

- ・目標：400kg~540kg（50世帯3人家族想定）

- 実績：1,883.1kg（6月・7月入庫総重量）

6月

総重量	市民	常設	企業・団体	イベント	生協
599.9 kg	123.8 kg	29.4 kg	416.1 kg	13.3kg	17.2 kg

※イベント：こまエコまつり 13.3kg、コープみらい染地 7.2kg
 ※生協：南部生協 95kg

7月

総重量	市民	常設	企業・団体	イベント	生協
1283.2kg	369.9kg	113.2kg	800.1kg	0kg	0kg

【実施経過】

5/20	2019、夏休みひとり親子育て応援実施検討会
/21	子育て支援課と夏休みひとり親支援、及び年間の支援事業を協議
/24	狛江市と2019年度「冬休み子育て応援緊急食料支援覚書」を交わす
6/2	こまエコまつりでフードドライブと食品寄贈呼びかけの広報兼ねたポップコーン販売
/3	2019年度ひとり親支援について狛江市の後援名義使用承認
/4	ピン・缶リサイクルセンターで定例フードドライブ
7/2	ピン・缶リサイクルセンターで定例フードドライブ
8/1	夏休みひとり親支援申し込み開始、セットした食品を発送開始
/6	ピン・缶リサイクルセンターで定例フードドライブ
/18	夏休みひとり親支援申し込み締切り
/19	支援食品の発送終了

【広報について】

●広報活動

- チラシの作成と配布

作成数	配布・掲示場所
3100部	町内会、市民ひろば、こまエコまつり、公民館、連携団体、公営掲示板など

- SNS

種類	アカウント元
ホームページ	フードバンク狛江 6/13、8/1、8/22の3回告知。
Facebook	フードバンク狛江 随時告知。
Twitter	狛江市子育て支援課 7/8、7/28、8/5、8/12の4回ツイート。

●メディア掲載

- 朝日新聞：7/26 夕刊 社会・総合面

【事業実施の振り返り】

1) アンケート回答まとめ

質問 1：今回の食料支援へのお申込みの理由は何ですか？

→主な理由3点：①経済的な理由 ②ひとり親のため ③食費がかさむため（夏休みの時期・食べ盛り）

質問 2：受け取った感想を自由にお書きください。

→多数あった内容：①こどもが喜ぶ ②量が多く種類も豊富で嬉しい ③本当に助かる

質問 3：1 か月のお米の消費量はどのくらいですか？

→2人世帯：2～10kg／3人世帯：5～12kg／4人世帯：10～15kg

家庭によりかなりばらつきがあるが、全体での平均は2～3kg。

質問 4：次回も申し込みたいですか？

→はい39件 いいえ0件

2) 2019 夏休みひとり親応援は、申込み数が昨年 44 世帯の約 1.5 倍増の 64 世帯に増えた。新規の申込みは約半数の 30 世帯もあり、2 回以上申し込んだことがある 26 世帯とほぼ半々だった。アンケートからもフードバンクを知らない人がいる一方、今後も支援策として期待されていることから、今後さらに増えることが予想され、想定数の見直しも検討していく必要がある。

3) アンケートからは、やはり経済的な理由からの申込みが多い。食品ではお米が感謝され、また種類豊富な食品を提供することもあり子どもたちにも大変喜ばれ、ボランティアのやり甲斐ともなっている。今後も子育て世帯に役立つ食料の確保と、配送費などの必要経費の確保が優先課題となっている。引き続き、行政の子育て支援施策として「ひとり親家庭への食料支援」を実施するよう求めていく。